

## お江パンフレット

媒体／リーフレット

仕様／A4片観音折・6ページ・モノクロ

増上寺様に墓所がある「お江」の案内パンフレット。

### 二代將軍 徳川秀忠公室

# お江ごう

## 〜崇源院様〜

浄土宗 大木山 増上寺

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-35  
TEL.03-3432-1431(代) FAX:03-3432-1437  
http://www.zoji.or.jp

#### 金戒光明寺 お江供養塔

金戒光明寺は平安時代の古刹にあり、お江の供養塔があります。金戒光明寺は平安時代の古刹にあり、お江の供養塔があります。金戒光明寺は平安時代の古刹にあり、お江の供養塔があります。



お江供養塔(金戒光明寺)

#### 現存する旧崇源院御霊屋関連の建造物等

- 崇源院宝篋 現・増上寺徳川將軍家墓所正面右奥、二代將軍家忠公と合祀(秀忠安永昭は本意のため戦災で焼失)
- 建長寺(徳川將軍家墓所)仏龕 寛永5年(1628)建立／正保4年(1647)移築、重要文化財 崇源院御霊屋所造りに際し下賜され、建長寺仏龕として造営された
- 建長寺佛門 寛永5年(1628)建立／正保4年(1647)移築、重要文化財 同上崇源院御霊屋所造りの佛門を移築
- 建長寺西家蔵書門 17世紀初期建立、具指定文化財 同上崇源院御霊屋所造りの蔵書門を移築
- 旧台榭院蔵書丁字門 寛永9年(1632)建立／昭和35年移築、重要文化財 旧崇源院蔵書通門、戦災後、埼玉縣所沢市・狭山市不動寺に移築

表面

### お江の生涯

戦乱の世が長く、天正元年(一五七三)お江(小幡お江)は近江国小倉城主・浅井長政と、織田信長の妹・お市の方の三女として生まれました。長女は茶々ののちの淀殿、次女は輝、有名な「浅井三姉妹」のあつ子です。


生後まもなく、父・長政が叔父・信長と対立し、小倉城を落とされて自害。お江は母・市二一人の姉とともに信長に保護されますが、天正十年(一五八二)本能寺の変で信長が討たれ、母の再婚相手である柴田勝家の居城、越前国北ノ庄城へ移ります。しかし、その翌年、柴田勝家は賤ヶ岳の戦いで徳川秀吉のもの豊臣秀吉に敗れ、市も自死、両親を亡くしたお江は秀吉に引き取られます。

天正十二年(一五八四)、秀吉の命により、お江は十一歳で最初の結婚をしました。ところが、夫・佐治一政が秀吉の敵討隊についたために、離縁させられます。その後、秀吉の甥・羽柴秀勝と結婚しますが、秀勝は結婚後も一


文禄の役に出席し、朝鮮で病死してしまいます。三度目の結婚は文禄四年(一五九五)、相手は徳川家康の息子で、お江は江戸幕府二代將軍となる徳川秀忠でした。お江は六年下の秀忠との間に、手紙を以て家光、忠兵衛、相子など二男五女をもうけます。のち、長男・家光は元將軍になり、相子は後水尾天皇中宮の東御門院となりました。

寛永三年(一六二六)、江戸城にて水鏡、享年五十四。法名は崇源院昌隆和興仁清大佛院。

徳川將軍御合所(正室)とし、子に恵まれ、將軍生母もなつた後半生でしたが、秀忠との結婚後にも、徳川家と豊臣家の対立により大敵の役で姉・淀殿を失っている静かに眠っています。



**お江戸像 (崇源院蔵)**  
崇源院(京都市東山区)は、浅井長政の菩提を弔うため、淀殿の願いにより豊臣秀吉が建立。その戦災で焼失したが、お江が再興した。伏見城落城の際に徳川方の武将らが自刃した跡下を、再建時に供養のため天井に上げた「血天狗」が有名。また、奉納品(鎌倉)「白雲院」「鷹野子院」所蔵山楽舞「牡丹図」など多くの文化財を所蔵している。



**お江念持仏(持蓮華雲中阿彌陀如坐像) (崇源院蔵)**  
お江が御守としていた念持仏と伝えられ、持蓮華の様式で、その像の中には高さ約5センチの阿弥陀如来立像が祀られている。お江の御結婚後の持蓮華も上臈寺天壽寺に伝えられている。最終的には増上寺理園のひつで崇源院の御霊屋御霊屋として寛永三年(1626)に、当初は彫刻師として製造される。